

令和 7 年度 第 3 回

杉並区区政モニターアンケート

郷土博物館について

集計結果報告書



令和 7 年 8 月実施

杉並区総務部区政相談課

〈郷土博物館について〉

調査の概要

1 調査の目的

杉並区では、平成元年5月に生涯学習のための施設として杉並区立郷土博物館を開設し、世代を超えた多くの方々にご利用いただいてまいりました。この度、改正された博物館法(令和5年4月1日施行)を踏まえ、杉並区立郷土博物館条例の一部を改正し、「デジタルアーカイブ」※の構築などに取り組むこととなりました。杉並区では、令和8年1月の稼働開始を目指して、「デジタルアーカイブ」の構築に着手しました。

一方、この法改正に伴い博物館の登録制度が見直され、杉並区立郷土博物館も改めて登録審査手続きを行うこととなりました。「デジタルアーカイブ」構築や登録審査手続きを行うことに先立ち、「よりよい博物館運営」を目指すため区民の皆様のお声を伺うため、アンケートを実施します。

※デジタルアーカイブとは、資料や情報をデジタル化して保存し、インターネットを通じて誰もが簡単にアクセス・共有できる仕組みです。

2 調査期間 令和7年8月29日～令和7年9月16日

3 対象者(区政モニター) 199 人

4 回答者数 171 人 回答率 85.9% ※各設問の回答者数は表右上にnで表示

5 回答者構成

〈年代別構成〉

単位: 人

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
男性	1	9	18	14	15	12	11	5	85
女性	1	12	17	15	17	14	8	0	84
回答しない	0	1	0	1	0	0	0	0	2
人数	2	22	35	30	32	26	19	5	171
割合	1.2%	12.9%	20.5%	17.5%	18.7%	15.2%	11.1%	2.9%	100%

単位: 人

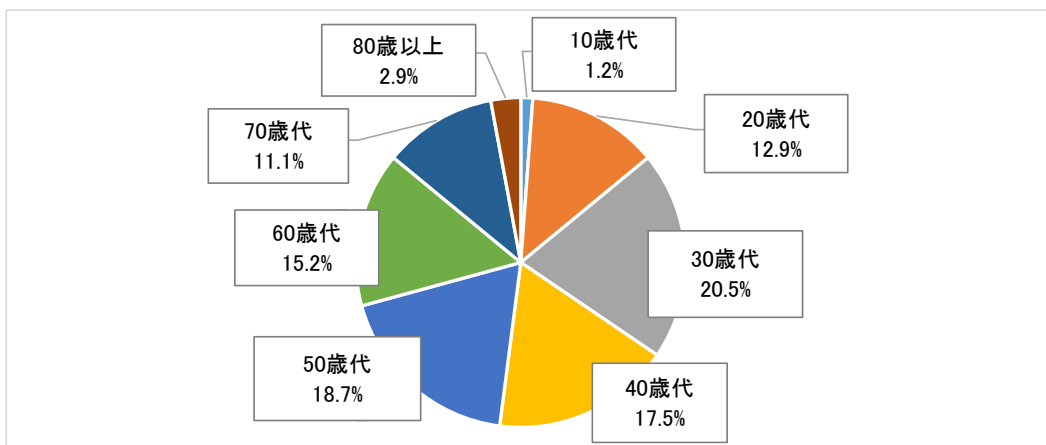
	住居表示の町名	人数	割合
井草地域	井草、上井草、下井草	9	5.3%
西荻窪地域	上荻、松庵、善福寺、西荻北、西荻南	24	14.0%
荻窪地域	天沼、今川、荻窪、清水、本天沼、南荻窪、桃井	26	15.2%
阿佐谷地域	阿佐谷北、阿佐谷南、成田西、成田東	27	15.8%
高円寺地域	梅里、高円寺北、高円寺南、堀ノ内、松ノ木、和田	34	19.9%
高井戸地域	上高井戸、久我山、下高井戸、高井戸西、高井戸東、浜田山、宮前	35	20.5%
方南・和泉地域	和泉、永福、大宮、方南	16	9.4%
合 計		171	100%

〈職業別構成〉

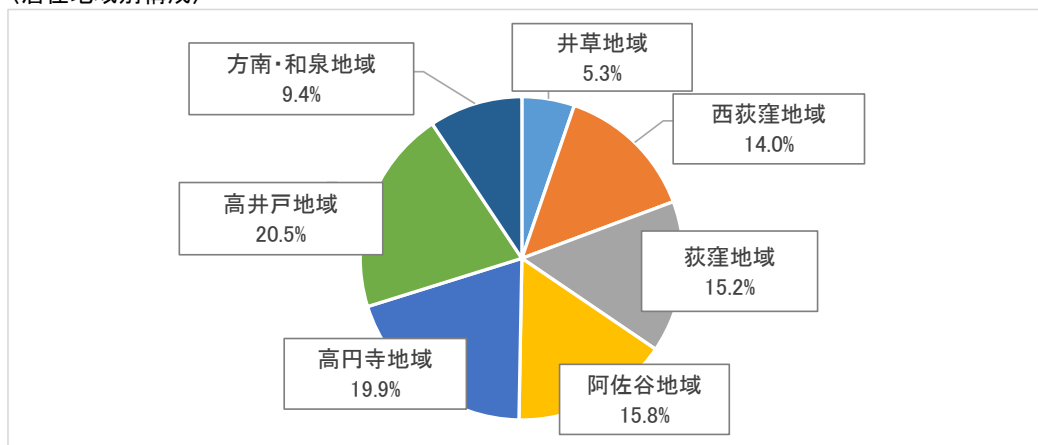
単位: 人

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
自営業・自由業	0	1	0	4	2	4	1	0	12
会社員・公務員	0	14	31	20	19	6	1	0	91
臨時・パート・非常	0	3	3	4	4	3	1	0	18
専業主婦(夫)	0	0	1	1	5	3	3	0	13
学生	2	2	0	0	0	0	0	0	4
無職	0	2	0	0	1	8	13	5	29
その他	0	0	0	1	1	2	0	0	4
人数	2	22	35	30	32	26	19	5	171
割合	1.2%	12.9%	20.5%	17.5%	18.7%	15.2%	11.1%	2.9%	100%

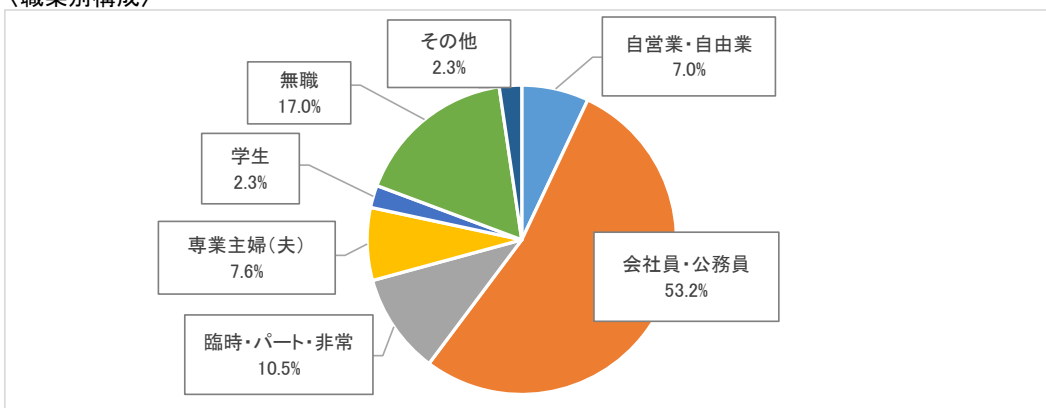
〈年代別構成〉



〈居住地域別構成〉



〈職業別構成〉



その他: 大学教員、年金生活者、美容師、派遣社員

◆基本事項についてお聞きします。

問1 あなたの性別をお答えください。

問2 あなたの年齢をお答えください。

問3 あなたのお住まいは、どの地域にあたりますか。

問4 あなたの職業を教えてください。

※問1～問4の結果については、上記『調査の概要「5 回答者構成」』のとおり

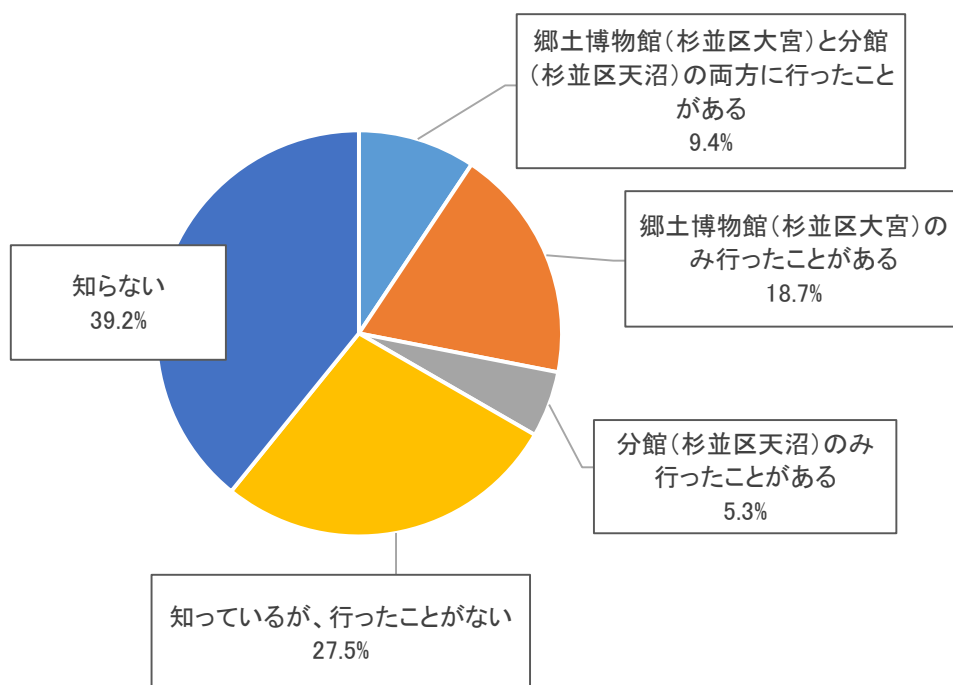
◆ 郷土博物館について

問5 杉並区立郷土博物館に行ったことがありますか。(○は1つ)

必須

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
郷土博物館(杉並区大宮)と分館(杉並区天沼)の両方に行ったことがある	16	9.4%	2	3	8	3
郷土博物館(杉並区大宮)のみ行ったことがある	32	18.7%	2	12	10	8
分館(杉並区天沼)のみ行ったことがある	9	5.3%	1	3	4	1
知っているが、行ったことがない	47	27.5%	3	16	19	9
知らない	67	39.2%	16	31	17	3
合 計	171	100%	24	65	58	24



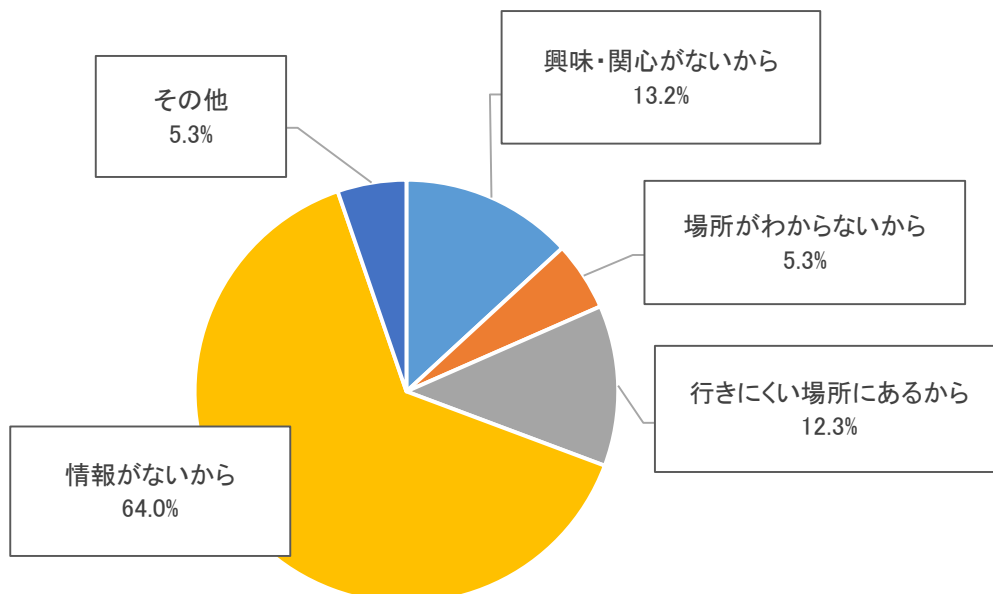
問6 (問5で「知っているが、行ったことがない」「知らない」と回答した方に質問です)その理由を教えてください。(○は1つ) 必須

n= 114

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
興味・関心がないから	15	13.2%	6	6	1	2
場所がわからないから	6	5.3%	2	1	1	2
行きにくい場所にあるから	14	12.3%	1	5	7	1
情報がないから	73	64.0%	10	33	24	6
その他	6	5.3%	0	2	3	1
合 計	114	100%	19	47	36	12

その他:

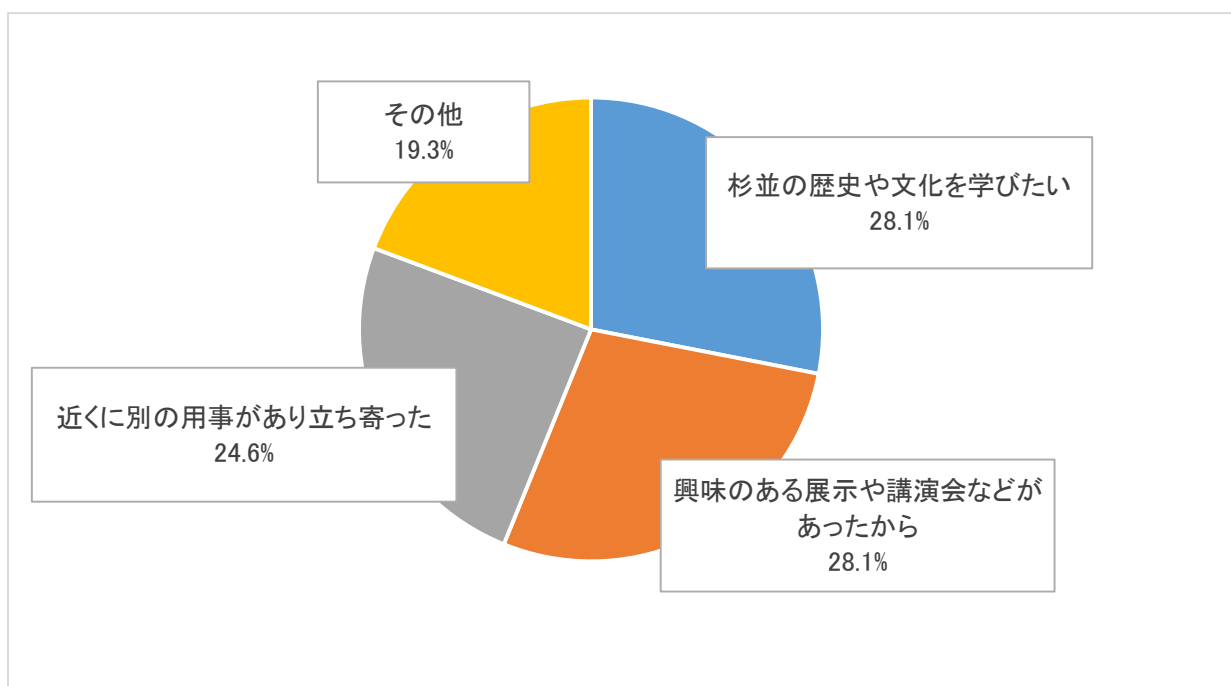
- ・行きたいと思っているが、行く機会がなかった。
- ・他の場所に比べると、魅力に欠けるから
- ・きっかけがないから・いつか行きたいとは思っているが、行くタイミングを逸している。
- ・多忙のため・行こうと思ったが休館でした。



問7 (問5で「郷土博物館(杉並区大宮)と分館(杉並区天沼)の両方に行ったことがある」「郷土博物館(杉並区大宮)のみ行ったことがある」「分館(杉並区天沼)のみ行ったことがある」と回答した方に質問です) そのきっかけや理由を教えてください。(〇は1つ) 必須

n= 57

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
杉並の歴史や文化を学びたい	16	28.1%	1	4	6	5
興味のある展示や講演会などがあったから	16	28.1%	1	5	7	3
近くに別の用事があり立ち寄った	14	24.6%	2	5	5	2
その他	11	19.3%	1	4	4	2
合 計	57	100%	5	18	22	12



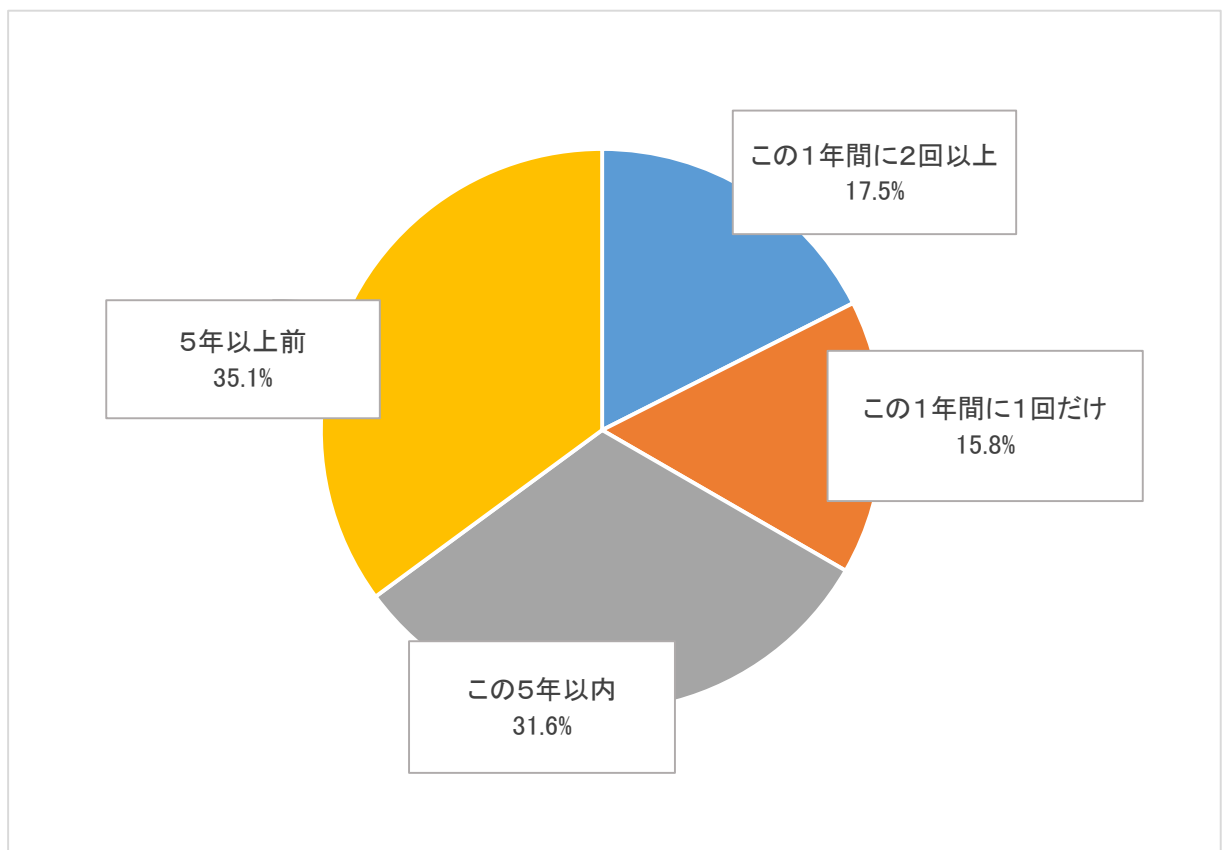
その他:

- ・子供の学校行事に関連して
- ・文化財保護ボランティアの活動・散歩がてら立ち寄り。
- ・古文書解読の講習会に参加したことがある。
- ・小学生のころ社会科見学で行きました。(同様意見他2件)
- ・近所だったので・昔、区政モニターの行事で参加した。
- ・母が興味があり一緒にいきました。
- ・小さい頃親に連れられて

問8 (問5で「郷土博物館(杉並区大宮)と分館(杉並区天沼)の両方に行ったことがある」「郷土博物館(杉並区大宮)のみ行ったことがある」「分館(杉並区天沼)のみ行ったことがある」と回答した方に質問です)いつ頃行きましたか。(〇は1つ) 必須

n= 57

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
この1年間に2回以上	10	17.5%	0	4	6	0
この1年間に1回だけ	9	15.8%	0	2	5	2
この5年以内	18	31.6%	2	5	6	5
5年以上前	20	35.1%	3	7	5	5
合 計	57	100%	5	18	22	12



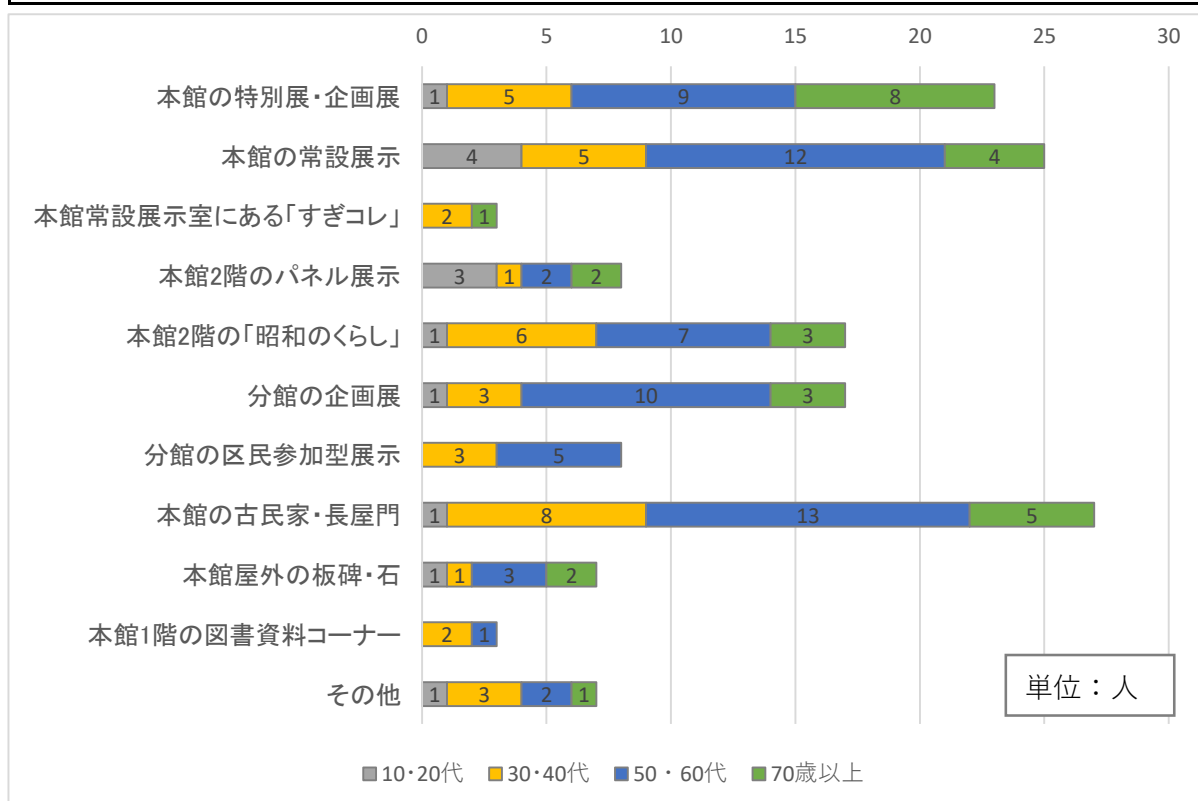
問9 (問5で「郷土博物館(杉並区大宮)と分館(杉並区天沼)の両方に行ったことがある」「郷土博物館(杉並区大宮)のみ行ったことがある」「分館(杉並区天沼)のみ行ったことがある」と回答した方に質問です)観覧してよかったと思うものは何ですか。(〇はいくつでも) 必須

n= 57

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
本館の特別展・企画展	23	40.4%	1	5	9	8
本館の常設展示	25	43.9%	4	5	12	4
本館常設展示室にある「すぎコレ」	3	5.3%	0	2	0	1
本館2階のパネル展示	8	14.0%	3	1	2	2
本館2階の「昭和のくらし」	17	29.8%	1	6	7	3
分館の企画展	17	29.8%	1	3	10	3
分館の区民参加型展示	8	14.0%	0	3	5	0
本館の古民家・長屋門	27	47.4%	1	8	13	5
本館屋外の板碑・石	7	12.3%	1	1	3	2
本館1階の図書資料コーナー	3	5.3%	0	2	1	0
その他	7	12.3%	1	3	2	1

その他:

- ・あまり覚えていない。(ほか1件)
- ・阿佐ヶ谷文士についての特集があった記憶がある。
- ・昔区政モニターの行事で参加しましたが記憶に残っていない。
- ・30年前の記憶なので何をみたか覚えていません。
- ・小さい頃すぎて何を見たか覚えていない。
- ・数年前、本館 2階に過去の講演会の録画を自分で観れるブースがあり、渡辺和子さんの講演会を観た。気軽に自分が観たい映像を利用できるコーナーが以前にはあった。



問10 杉並区立郷土博物館のこれまでの特別展・企画展で観覧し、印象に残っている展示をあげてください。 ※展示名でなくても、覚えている内容で構いません。

- ・ 昨年か一昨年郷土資料館で講演会があり聴講しました。「現中央線と荻窪の発展の歴史」
分館：国指定史跡復原整備完成記念 企画展「荻外荘」と近衛文麿
「陽明文庫名品展 豫楽院近衛家熙の風雅」
「国史跡指定記念特別展「荻外荘」と近衛文麿」
- ・ 中央線がなかったら
- ・ 近衛家に関する展示
- ・ 子供が小学生の時、大変お世話になりました。土器の発掘体験、お正月のお餅飾り、樹木の種類展示など。季節ごとの伝統文化や日本文化を学ぶことができ、大変勉強になりました。
- ・ 中西悟堂展
- ・ 古民家での石臼や火おこしの体験が記憶に残っている。
- ・ 棟方志功の展示があったと思います。
- ・ 太后陛下の展示、大宮遺跡の展示
- ・ 高井戸地域の昔話
- ・ 荻窪駅の歴史についての展示が印象に残っています。当時の写真を見ることもでき、こんな場所だったんだなあと感慨深くなりました。
- ・ 60代まで仕事をし、その後、地方へ数年行っていましたので、行く機会が無かった。今回のアンケートを通じ、情報を基に行ってみたいと思います。
- ・ 退職して間もないころ20年近く前に行ったので、ほとんど覚えていない。
- ・ 杉並区の沿革、歴史。特に杉林の写真が印象に残っています。
- ・ 昭和のくらし
- ・ 2024年12月に分館で開催された荻外荘のリニューアルオープンの特別展
- ・ 50年以上年杉並区にいて、この施設があることを知りませんでした。知っていたとしても、興味はなかったかと思います。
- ・ 荻外荘関連の企画で近衛家と「お香」
- ・ 杉並区在住の画家田中青坪と三上浩の展覧会
- ・ 荻窪駅周辺の変遷
確か、松葉 襄 さん(故人)の資料を活用された展示だった。あと、荻窪地域区民センター協議会が作成(作成者は協議会が依頼した地元関係者、地域の詳しい有識者など)した展示
- ・ 地元の歴史
- ・ 昭和の家電
かまどのある古民家
- ・ だいぶ前に行ったのであまり覚えてません。
- ・ 昔の人々の日常の暮らしの展示
- ・ 古文書解説講座に参加した後に常設展示を拝見しました。時間がなく今度来館したら井伏鱒二氏の特別展を見ようと思っておりましたが期間が終わってしまいました。残念です。
- ・ 特別展、企画展には、行っておりません。
- ・ 一番直近の分館での企画展示、「ふたつの疎開」を感銘深く見させていただきました。杉並区は下町地区に比べて空襲が少なかったとは言われていますが、基幹の軍事関連の工場が存在していたため、高射砲の数か所の設置がありました。思ったよりも空襲の爆弾投下による被害はあったのですね。

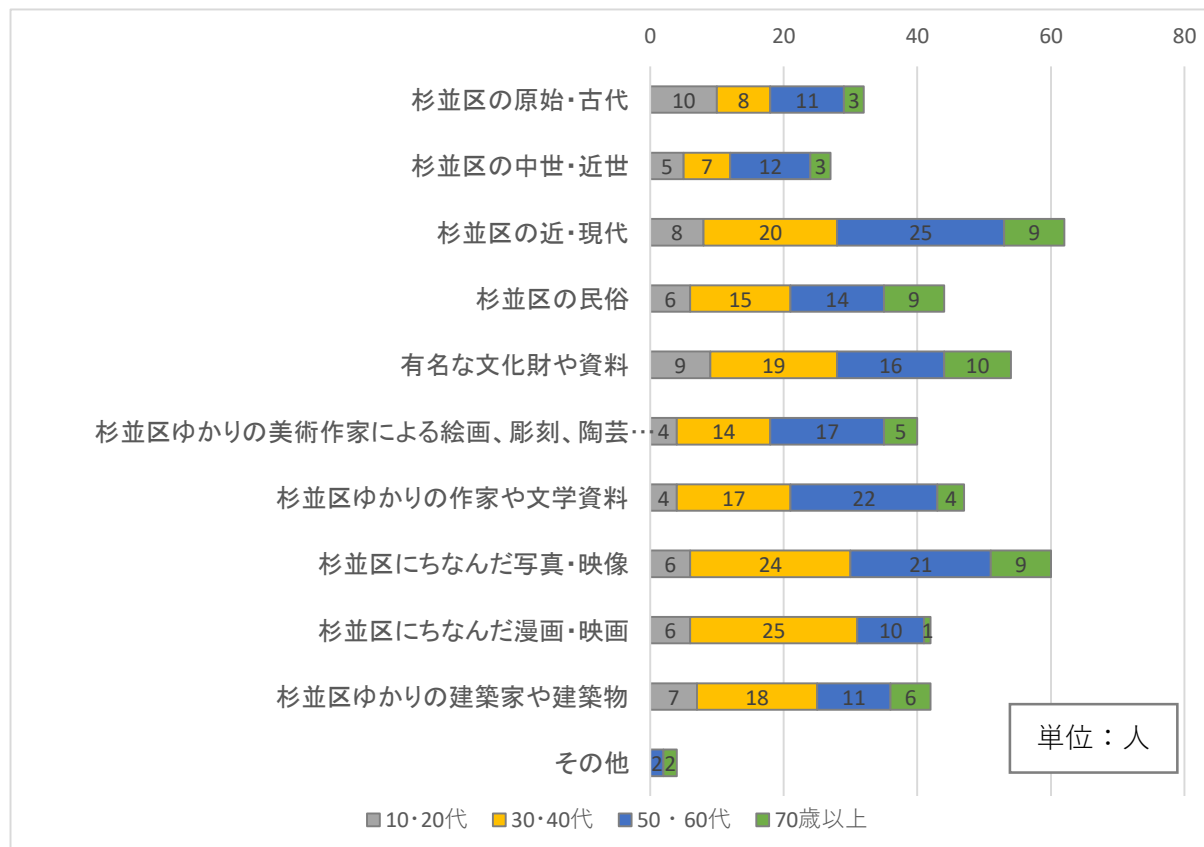
問11 今後、郷土博物館では、どのような資料の収集に力を入れるべきだと思いますか。
(○は3つまで) 必須

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
杉並区の原始・古代	32	18.7%	10	8	11	3
杉並区の中世・近世	27	15.8%	5	7	12	3
杉並区の近・現代	62	36.3%	8	20	25	9
杉並区の民俗	44	25.7%	6	15	14	9
有名な文化財や資料	54	31.6%	9	19	16	10
杉並区ゆかりの美術作家による絵画、彫刻、陶芸など	40	23.4%	4	14	17	5
杉並区ゆかりの作家や文学資料	47	27.5%	4	17	22	4
杉並区にちなんだ写真・映像	60	35.1%	6	24	21	9
杉並区にちなんだ漫画・映画	42	24.6%	6	25	10	1
杉並区ゆかりの建築家や建築物	42	24.6%	7	18	11	6
その他	4	2.3%	0	0	2	2

その他：

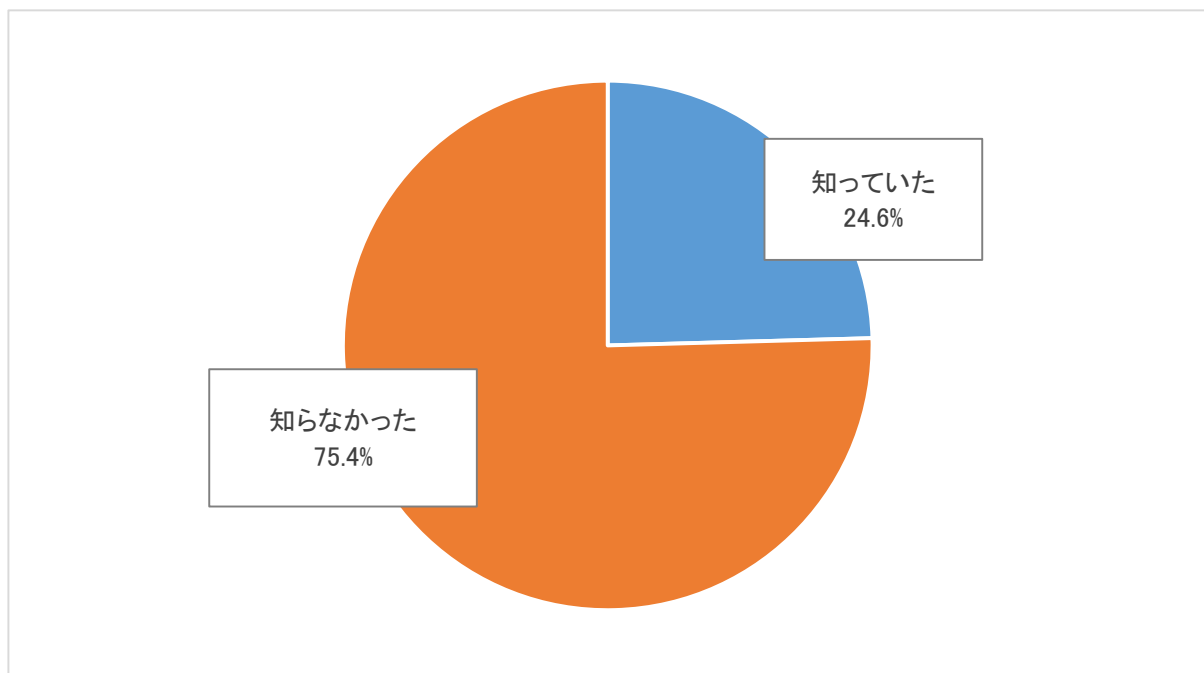
- ・杉並区と戦争のかかわり(被災状況、復興の歴史)
- ・太平洋戦争の戦中戦後の杉並区について知りたい。
- ・科学館がなくなったので、小柴昌俊さん達の科学者の功績や、地質、動植物などの展示、体験。



問12 現在、杉並区立郷土博物館だけでなく、公設・私設の別や規模の大小にかかわらず博物館の収蔵スペースの不足が社会問題化しています。あなたは、この「博物館収蔵庫問題」をテレビや新聞報道等を見て知っていましたか。必須

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
知っていた	42	24.6%	2	12	21	7
知らなかった	129	75.4%	22	53	37	17
合 計	171	100%	24	65	58	24



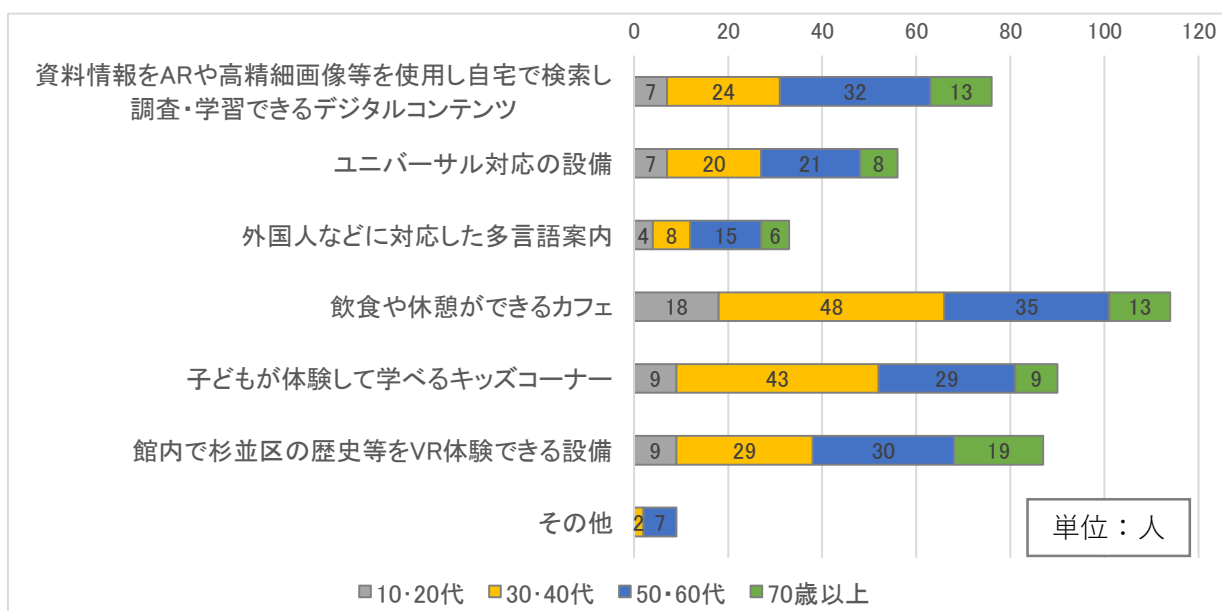
問13 杉並区立郷土博物館は開館から37年が経過していますが、もしリニューアルするとしたらどういう施設や設備が魅力的ですか。(〇はいくつでも) 必須

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
資料情報をARや高精細画像等を使用し自宅で検索し調査・学習できるデジタルコンテンツ	76	44.4%	7	24	32	13
ユニバーサル対応の設備	56	32.7%	7	20	21	8
外国人などに対応した多言語案内	33	19.3%	4	8	15	6
飲食や休憩ができるカフェ	114	66.7%	18	48	35	13
子どもが体験して学べるキッズコーナー	90	52.6%	9	43	29	9
館内で杉並区の歴史等をVR体験できる設備	87	50.9%	9	29	30	19
その他	9	5.3%	0	2	7	0

その他:

- ・公共交通の便の良い場所(例。駅近く)に分館(出張)展示施設を設ける。
- ・図書要素を増やしてほしい。
- ・都内でも有数の蔵書を誇る図書館と何か連携できないかと思う。
- ・自宅に居ながらリモート学習できる拠点
- ・杉並区の世田谷寄りに本館があり分館は荻窪駅板口より徒歩5～6分の場所にあるので現在よりもアクセスをよくしてもらいたい。例えばバス(すぎ丸など)の運行を便利に使用できるように時刻表などを広く広報すぎなみなどで宣伝をする。
- ・目新しさや人を呼び込む施策も大事だと思いますが、まずはこれだけ素晴らしいコンテンツがあるので、学芸員の増員や参加型イベントの充実、そのほか暮らしのハブになるような施設ができると良いと思いました。またせっかくアレだけの資料や展示があるのにあまり存在を知られていない気がします。場所柄、ランナーや散歩の人も多いのでペット連れありの休憩スペースやランナースポットを併設する。
- ・郷土史だけでなく、科学館、美術館、講演会場などを含めた総合博物館。
- ・月イチかそれ以下でも20時まで開館してたら嬉しい。
- ・インタラクティブ性のある展示



問14 杉並区立郷土博物館が今後取り組むべき役割・機能は何だと思われますか。
(○はいくつでも)

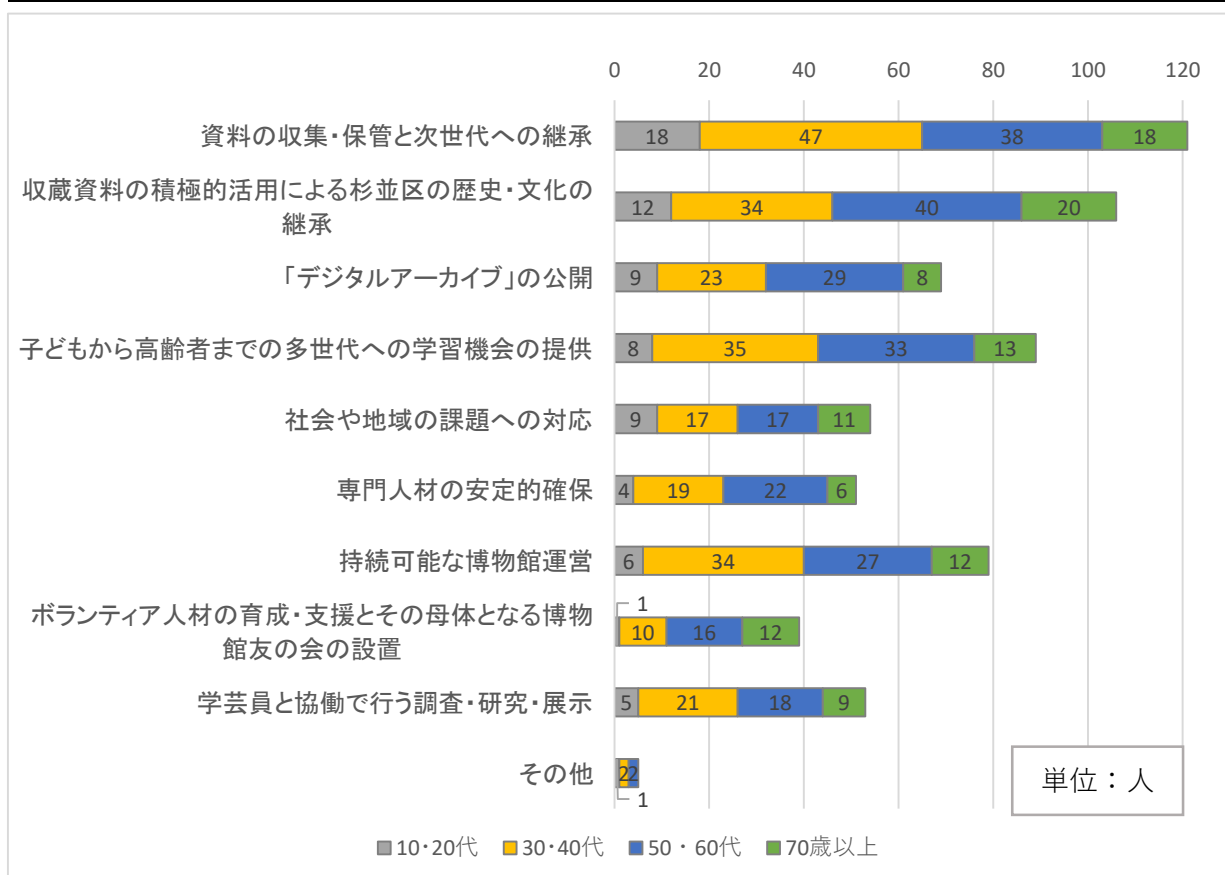
必須

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
資料の収集・保管と次世代への継承	121	70.8%	18	47	38	18
収蔵資料の積極的活用による杉並区の歴史・文化の継承	106	62.0%	12	34	40	20
「デジタルアーカイブ」の公開	69	40.4%	9	23	29	8
子どもから高齢者までの多世代への学習機会の提供	89	52.0%	8	35	33	13
社会や地域の課題への対応	54	31.6%	9	17	17	11
専門人材の安定的確保	51	29.8%	4	19	22	6
持続可能な博物館運営	79	46.2%	6	34	27	12
ボランティア人材の育成・支援とその母体となる博物館友の会の設置	39	22.8%	1	10	16	12
学芸員と協働で行う調査・研究・展示	53	31.0%	5	21	18	9
その他	5	2.9%	1	2	2	0

その他:

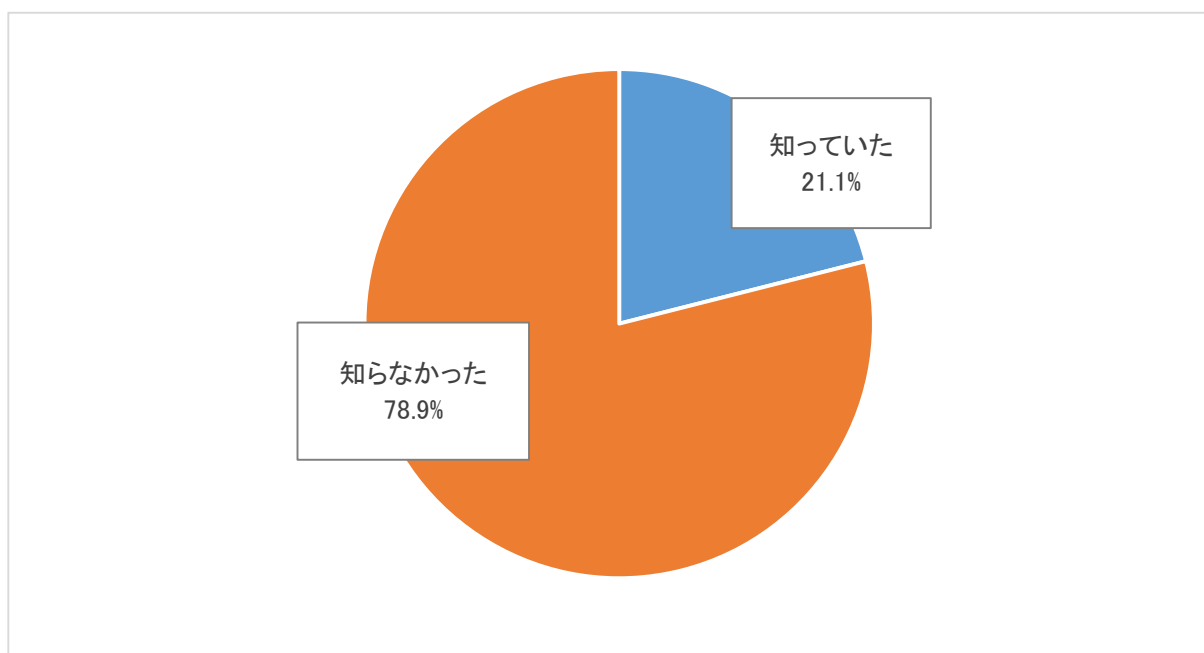
- ・本当に必要なかどうか再検討
- ・杉並に転居してきた子育て世代が杉並の歴史・文化などの知識を得る手助け。「子どもにとってはここが地元になるから」と言って博物館に見学に来た人がいたので。
- ・失礼ながらデジタルアーカイブとは何でしょうか？マイクロフィルムなどの保存したりすることでしょうか？
- ・専門人材でなくとも、企画案を作ったりはできると思うのでそういう人材を募集するなどしたら、新しい層を取り込む企画運営ができるのでは？



問15 博物館が持つ資料をデジタル化して保存する「デジタルアーカイブ」の作成は、インターネットを通じて資料の情報にアクセスすることや、インターネットを通じて博物館が自館の魅力を発信するための基盤となる取組です。あなたは、この博物館における「デジタルアーカイブ」への取り組みについて知っていましたか。(○は1つ) 必須

n= 171

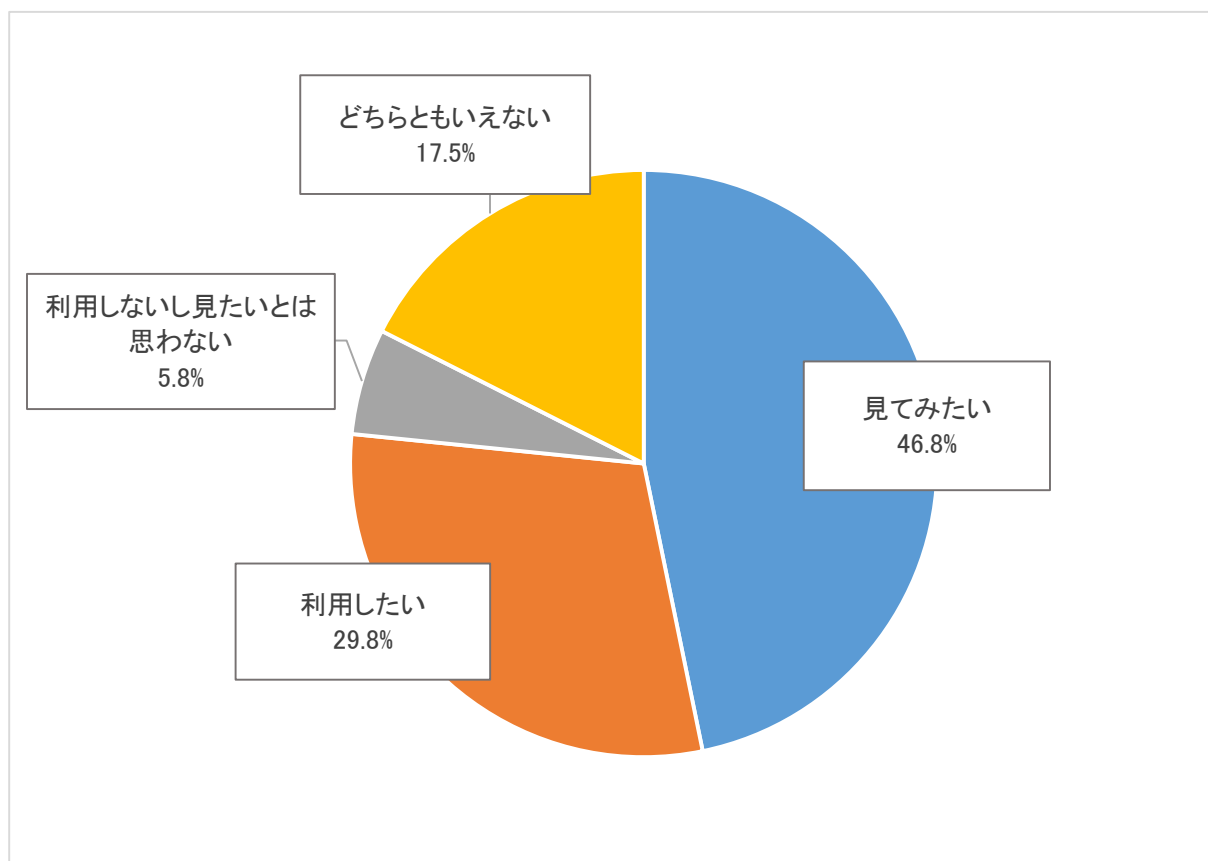
	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
知っていた	36	21.1%	5	19	8	4
知らなかった	135	78.9%	19	46	50	20
合 計	171	100%	24	65	58	24



問16 現在、杉並区立郷土博物館をはじめとする杉並区の複数の部門では、令和8年1月の稼働を目指して、「デジタルアーカイブ」の準備を進めています。これが稼働した際、あなたの所感をお聞かせください。(○は1つ) 必須

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
見てみたい	80	46.8%	13	32	23	12
利用したい	51	29.8%	4	14	25	8
利用しないし見たいとは思わない	10	5.8%	2	5	2	1
どちらともいえない	30	17.5%	5	14	8	3
合 計	171	100%	24	65	58	24



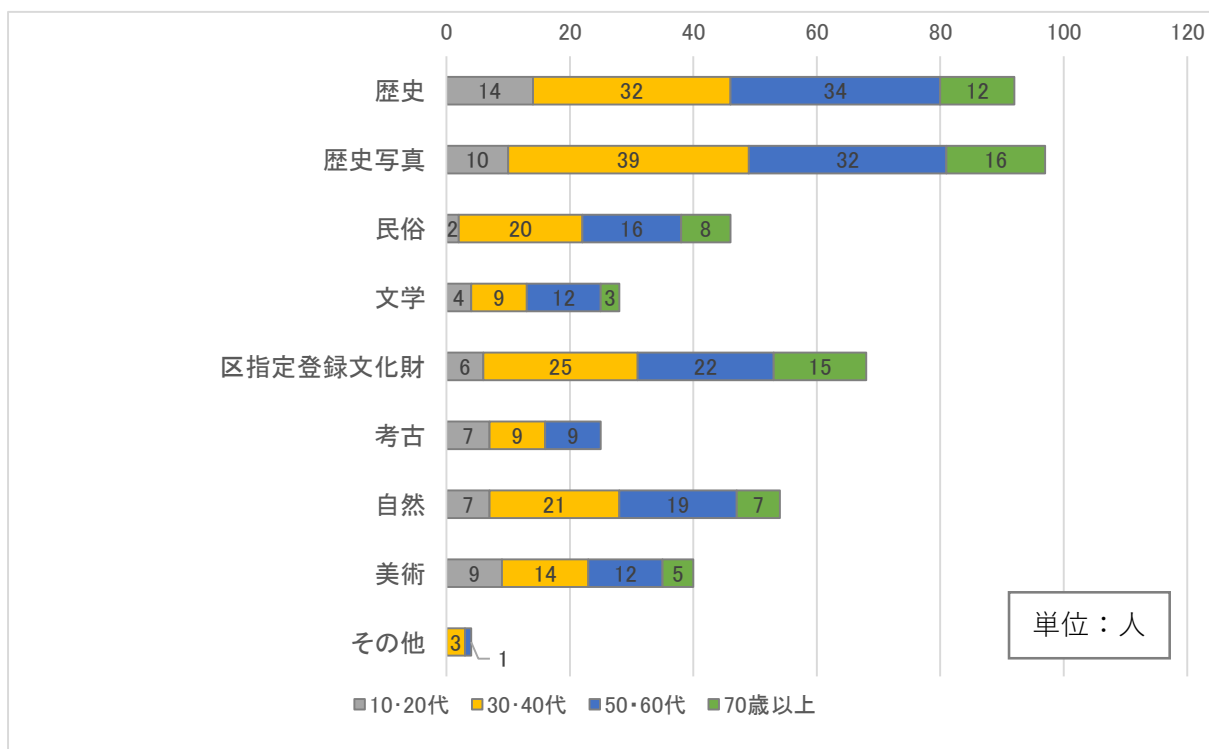
問17 今後、郷土博物館では、「デジタルアーカイブ」の充実に向けてどのような分野のデータ搭載に力を入れるべきと思いますか。(〇は3つまで) 必須

n= 171

	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
歴史	92	53.8%	14	32	34	12
歴史写真	97	56.7%	10	39	32	16
民俗	46	26.9%	2	20	16	8
文学	28	16.4%	4	9	12	3
区指定登録文化財	68	39.8%	6	25	22	15
考古	25	14.6%	7	9	9	0
自然	54	31.6%	7	21	19	7
美術	40	23.4%	9	14	12	5
その他	4	2.3%	0	3	1	0

その他:

- ・関東大震災、太平洋戦争の伝承
- ・選択肢すべてにおいて、デジタルアーカイブにしていきたい。また、パソコンや携帯電話のインターネットが使用できない場合のことも考えて、何か工夫していただいて拝見できればと思います。
- ・漫画やアニメ、音楽やファッションなどの中心地でもあるので関連するサブカルチャーをアーカイブするのはどうか。
- ・郷土博物館自体の魅力の発信



問18 杉並区立郷土博物館に関するご意見を自由にお書きください。

【認知度・広報に関する意見】

- ・このモニターアンケートで存在を知りました。10年も住んでいるのに。杉並区についての歴史や芸術、文学における著名人はたくさんいるはずなのにもっと知れる機会があればより愛着を持って住み続けることができると思います。戦争に反対していた与謝野晶子が住んでいたことを知り嬉しくて親近感を持って杉並に住もう、と引越し先を決めた部分もあるので、もっとそういった地域の歴史を知れたらいいなと思いましたし、これを機に足を運んでみようと思いました。
- ・インスタで視覚に訴える広報していただけると、若い世代も関心を持てると思います。郷土博物館という名称が魅力を発信できていないので。名称変更及び来てもらえるコンテンツ発信をしないとまったく立地だと思っています
- ・小学校のとき以来あることを忘れていました。親子3代杉並区にずっと住んでいますが、あまり存在を認識できていませんでした。常設、期間限定の展示についてそれが目に入る広報があるといいなと思います。
- ・これまで2回ほど訪れていて、外観からは伺い知れないスケール感や所蔵品、興味深い展示があったことを覚えています。もう少し機会があれば行きたいのですが、つつい後回しになりがち。もう少しタッチポイントが増えれば足が向く機会も増えそう。特に特別展やイベントについて自分から調べてまではしておらず、近くを散歩した際についていって時間があればいく程度にとどまっています。町内会の掲示板でのお知らせでもいいし、ラインニュースなどでもいいのでどんどんお知らせして欲しいです。
- ・杉並区の歴史や、文化に興味をもつ方々が増えるように、駅などにポスターなどあれば、告知していただきたいです。
- ・郷土博物館をあまり知らず、他にも区民で知らない人って多いと思うので、こういうのがあるという情報発信から始めるべきだと思います。
- ・区立の貴重な博物館にもかかわらず、小中学生なら授業の中でも活用するのでその役目は果たしていると思われます。しかし、一般の区民からはなかなか博物館の存在が認識されていないように思われます。地域イベントの開催・共催などを通じて区民全体に企画展示などについて広報を積極的に行ってもよいかなと思います。
- ・小学校の社会見学で利用することの推進や、区報での博物館の周知や、案内図の設置（例えば駅構内や公園）などをしてはどうかと思います。区立博物館を知らない区民も多いと思われます。
- ・このアンケートで郷土博物館について初めて知りました。学校教育に活用されているようですが、博物館が持続するためには一般向けのイベントや広報にも力を入れるべきだと思います。
- ・今回、郷土資料館について初めて知ることができた。私の勉強不足であるが、私のような30年以上の区在住者が知らないということは、認知されにくい状況にあるのも一因と考える。区の広報は多岐にわたるが、郷土資料館は特に若い世代には必要と思われるので、ターゲットを絞った広報や利用機会の提供が求められると思う。
- ・博物館は元々興味があるが、杉並区に郷土博物館があることを知らなかった。興味はあるが知らない層への認知度を高めていく取り組みが必要かと思った。
- ・郷土博物館に行ったことがないのは、どういうものが展示されているか、どういう企画が行われているかなどの情報が入ってこないことが理由の一つにある。行ってみたいと思えるコンテンツを事前に情報として知っておけば、興味も湧いて足が向くと思う。

・郷土博物館という施設が杉並区にあるのを全く知らなかったのが驚いた。自宅の近くにある、子供が学校の学習で使っている、などない限り存在を知らない人は多いように思います。存在を知ったら興味がわいたので、区民へもっと周知したら利用者が増えそうだと思います。

・知名度が低いので、もっと積極的なPRをしてより多くの人が訪れるといいなと思う。

・もっと情報発信をして、多くの人の興味喚起をすべきだと思います。

・認知度を上げて区民の皆様が楽しめて学べる場所となればいいと思います。

・今まで郷土博物館に行く機会がありませんでしたがその活動がもっと沢山の区民に周知されれば皆活用出来ると思います。

・今回アンケートに答えて、杉並区立郷土博物館について何も自分は知らないことを知りました。知らない人が知る機会、知っている人がまた行きたくなる機会を増やす必要があると思いました。

・催事のPRの工夫

・ポストとかに案内があったら、気になって行ってみるかも。杉並区の情報誌の中に案内があっても気づかないが、それ単体のチラシなら思わず読んでしまう。

・過去の歴史から未来を考えてみるきっかけを与えてくれれば素晴らしいがいままで存在を知りませんでした。何のためにあるのか、存在意義を含め、もっと区民に知ってもらう必要があると思います。

・行ってみたいと思っていましたが、展示の情報があまりなく、行ったことはありません。すぎなみ区報に特別展示等の情報を掲載していただくとよいと思います。

【アクセス・利便性に関する意見】

・郷土博物館に行くには1時間くらいかかります。何か博物館に行くアクセスの時間を短縮できるように考えていただければ来館者も増えるのではないのでしょうか。

・荻窪地域在住者で、地域で外出ボランティアをしています。参加メンバーの年齢が平均70歳後半です。外出先に郷土博物館が候補に挙げられますが、バスを乗り換えるなど手間がかかり高齢者には行きにくい場所で頓挫します。分館を今の場所(天沼)に大きく建て変えて頂きたいです。分館の場所は多くの区民が足を運べると思います。郷土博物館は度々企画展に行っても閑散としていて残念です。

・足を運んで見に行くのは、学校からの見学ぐらいで、私的に足を運ぶ人は少ないと思います。もし存続されるならば、今の時代、インターネットを使ってみることができる工夫が必要だと思います。杉並区も広く、足を運ぶに至る興味はないと思われます。

・毎週土日早朝に善福寺川沿いをランニングしており、川沿いの掲示板は毎週見ているので博物館の状況はよく知っている。博物館本館は永福町や方南町の駅から少し遠いので行きづらいと感じている。

・少し不便なところがあるので、建て替える際は利便性の高い区役所やセシオンに併設されたらいかがでしょうか？

・駅から遠いのでバス必須かなと思いました。

・本館・分館とも交通不便で行き難い。

・古民家の雰囲気が好きです♪駅からだいぶ歩くのが難点です。

・駐車場が使えると、ファミリーの来館がしやすくなると思います。

・アクセスが悪い。食事・飲食が不便。

・場所が最寄り駅のどこからも遠くアクセスが悪いため、気軽に行きにくいのは集客上ネックだと思う。実際、自転車であれば行く気にならない。路線バスがあるとはいえ、乗車時間が短いのに1人230円かかれば家族全員で1000円近くになり、往復だと倍。そのお金をかけてまで行こうと思うには現状あまり魅力を感じない。荻窪駅から角川庭園に出ている無料のミニカー（？）のようなサービスまたはコミュニティバス等の安い手段があれば行く事のハードルが下がるかも。

・入館料は安く助かるが、利便性は悪く、飲食店もなく、ゆっくりできる場所がない。

シニアの方は遠出を億劫に感じるとは思いますが、気軽にカフェなどがある博物館が近くにあれば、お出かけにつながるとは思います。

・今まで場所的に行きづらいところにあり足を運んだ事はありません。高齢なので楽しみにいけるように、カフェを併設したりして頂き、気軽に杉並の事を知るきっかけになればと思います。

・カフェなどがあると人が集まり、博物館に興味を持つきっかけになるとは思います。

・安全な場所と認識されれば小さい子供のいるお家は出かけると思うので。小さい子が遊べるスペース、お茶を飲めるスペースがあると散歩中に休憩できたり、人が集まって来るとは思う。

・区民の利用しやすい場所に設置し、高齢者や子供たちが利用しやすくして頂きたい。（インターネットなどの利用は検討して頂きたい。）

【 展示・企画内容に関する意見】

・少しでも当時のものがわかる資料や画像などがあれば良いと思います。また少量でも定期的になにか特別開催するのが良いと思います。例えば集客力のあるところとコラボをして広げるのが一つあるかと思っています。

・阿佐谷出身のイラストレーターやデザイナーとのコラボ商品があると興味深いです。

・歴史博物館としての役割を重く見たうえ、諸外国（たとえば歴史博物館で先進するポーランドやドイツなど）のキュレーションや展示方法に倣うことが肝要であるとする。また、杉並にゆかりのあるメディア作品（アニメ・漫画等）とのコラボレーションに注力し、特別展を実施することで博物館のプレゼンスを高めることも欠かせない。

・今回のアンケートで杉並区に郷土博物館がある事を知り、当該施設のホームページや個人様ブログ等を拝見しておおまかな情報を得ました。内容に興味を惹かれないわけではないものの、イマイチ「行ってみよう！」となりにくかったのが初印象です。歴史を感じる事をメインとする場所なので騒がしいのは考え物ですが、次代に繋ぐ意味でも若年層にも興味を持ってもらえる施策（人気インフルエンサーや杉並区を題材にした創作作品（マンガやアニメや映画）とのコラボ等）で来場意欲を増やす様にしてもらえると「（例え完全デジタル化になり、現物との触れ合いが無くなっても）此处を残したい！」と思えるかと考えます。

・杉並区は様々なアニメやドラマの聖地にもなっているので、そういうのを紹介するイベントなども面白そうですね。

・聖地巡礼などの対象になれば、全国から人が来てくれるかもです。杉並区を題材とした漫画やアニメなどをアピールするのはいかがでしょうか。

・年中行事を体験できる貴重な施設だと思います。デジタルアーカイブズの作成はもちろんですが、体験型のイベントの取り組みも変わらず続けてほしいです。

・郷土博物館と聞いて、ピンと来る場所やものがないので、こんなものがあります!!と興味をひく展示があることを教えてほしい。

- ・全く興味が無いわけではないが、そこまで行きたいとは思わず、一度も行ったことがありませんでした。何か行きたくなるきっかけとなる、博物館やその近隣での催しなどがあれば、行くかもしれません。
- ・昔と今の違いを写真や動画で実際に見ることで、現在の現在の課題が見え、取り組むべきことが浮かぶのではないかと思います。また、私の世代や10代は知らない過去だからこそ、五感を通して気づく必要があると思います。
- ・訪れた人が癒されるような展示物などがあると人も賑わいそうです。
- ・老若男女にも視点を向けることは大事だが、知名度や興味関心を持ってもらうように現代的なムーブが必要と感じる。
- ・第2次世界大戦時の暮らし、思想など知りたい。また、今後の平和に貢献される事を望む。
- ・節分イベントは参加型で幼児でも楽しみやすい為、2年連続で行っています。展示についても簡単な体験コーナーなどが随所があれば、リピート訪問しやすいと思いました。
- ・企画の展示に関わる講演会などがあると良いと思います。
- ・子供向けのイベントがもっとあるといいなと思います。
- ・杉並区の郷土に限らず昔の人々の生活の知恵や風習文化などの継承を続けてほしい。毎年のお正月の獅子舞やお盆かざりなど行ける限り参加させてもらっております。
- ・自分の住んでいる家、地区が昔は何があった、どのように変化したのか、近現代を細かくデジタルで追っていけると面白いと思います。実は川だった、池だった、など防災にも役立つのかもしれない。
- ・杉並区立郷土博物館の存在を知らなかったの、逆にこれを機に知ることができました。行ったことがないので何とも言えませんが、「郷土博物館」をより良く「知ってもらう」「活用する」には、小中学校や高齢者などを対象とした体験型の企画をしたり、カフェや休憩スペースを作って、「足を運んでもらう」機会をたくさん作るのが良いかなと思います。
- ・子育て中、お散歩でよく利用しました。昔のおもちゃ、めんこやビー玉などあって、遊べてよかったです。親子で寄って、少し遊べるようなコーナーも常設であると、入りやすくなると思います。
- ・なにかわかりやすいイベントがあれば、行く機会となると思っています
- ・自宅でパソコンから知りたいことを手軽に知ることができるのは便利だし、この時代もはや当たり前なのかもしれないが、できれば、展示物などを五感で感じとるのが望ましい、特に小中学生のうちは。ただ、行ったことがないのに失礼ながら、杉並区限定の郷土資料がそんなにたくさんあるのかな？と、平たく言えば、何度も行きたくなるようなネタがあるのだろうか？と思ってしまいます。たぶん区内の小学校で一回はみんなで行くと思うので、まず、そこに照準を当てる、鉄道、動物、植物、地形、小説の舞台、学校の立地の変遷、校歌の比較などなど、興味を引き、身近なことを見直して、ひいては大人も面白いレベルのネタを集められるといいなと思う。
- ・見聞きする機会が少ないと思うので、イベントスペースにしたり、みんなが行きたくなる企画やスペースを作ったらいいと思う。

【教育的・学習的役割に関する意見】

- ・小中学生が行く場所になっていて、教育上有益な場所と思います。
- ・小中学校の社会科見学のみならず、校外学習の場・気軽に訪ねられる場所として積極的に活用してもらえたらなあと。勿論大人も、あとはシニア向けの企画も期待します。
- ・館の名称が少し硬い感じがする。公立小中学校生徒に学ぶ機会を用意して欲しい。
- ・私は子ども時代を杉並区で過ごしていないのでわからないのですが、区内の小学生の校外学習で行ったりすると良いと思う。

- ・孫が大きくなり、夏休みの課題とかにできるような資料や体験ができれば連れて行きたいと思います。
- ・子どものころから、例えば、小学校6年間に2～3回行く、中学でも1回は行く、高校でも1回は行く、というように、親しませることが重要。
- ・多分野にわたる講演会、研究発表会、区民への学習会などを月一程度開催していただきたい。博物館職員の講話、講演が区内の施設で多数回実施されているが、博物館主催で上交通の便の良い区の施設で開催していただきたい。
- ・行ったことがなかったが、ホームページを見たら非常に興味を持った、夏休みは子供が多そうだが、ぜひ機会を見つけて行ってみたいと思う。
- ・今から10年以上前ですが子供が大変お世話になりました。毎月広報のお知らせを見ては季節ごとの催しに行きました。当時は本当に見て触れて、体験できる本当に素晴らしい施設でした。デジタル化が進む風潮にありますが、子供達が、なるべく肌で感じ取れる体験型であることで存在意義が増すと思います。そして何よりも郷土博物館なのですから、まずは地元日本人のための施設であるべきです。次代を担う子供たちにきちんと日本の伝統文化を伝えることが存在の使命だと思います。多言語化が流行っていますが、不要です。その分の費用を他に回したほうがいいです。存在する意味、目的を間違えないでもらいたいです。

【デジタルアーカイブ・保存等に関する意見】

- ・区に関するものであれば分野を問わず収集・保存・公開するのが理想だとは思いますが。ただそれを実現するとすれば郷土博物館の負担が増大するであろうことが気がかりです。郷土博物館とは別に、また図書館とも別に、公文書館があればと思うのですが、区の公文書館設置構想などはあるのでしょうか。それとも東京都公文書館が杉並区の資料や史料、情報を網羅できているのでしょうか。
- ・デジタルアーカイブに関しても賛成ではありますが、知る機会がないと無駄になるので、活用率を上げるために知るきっかけづくりをお願いしたいと思いました。
- ・資料の収蔵に「デジタルアーカイブ」にすることは賛成です。デジタルに不慣れな高齢者にも使いやすいように簡単な操作で対応できるように設定されると良いですね。
- ・今まで郷土博物館の情報に触れるチャンスがなく、知識がありませんでしたが、デジタルアーカイブの設立の準備を始められていると知り、是非、見てみたい、参加してみたいと思いました。チャンスがありましたら、プロジェクトの設立に貢献したいと思っています。
- ・杉並区の歴史や民族を保存し展示することはとてもいいと思います。デジタルアーカイブの準備に関して知らなかったのが、知れてよかったです。デジタルアーカイブが具体的にどういう展示をしてどのようにアクセスできるのか、今後の広報をチェックしたいと思います。
- ・古代史が好きで都内の郷土・歴史博物館を見て回っており、世田谷区郷土資料館が印象に残っている。杉並区の川沿いには古い遺跡や土器の発掘現場が多くあり、「デジタルアーカイブ」で見ることができると期待している。時間と場所を超越してこそデジタルの活用であると感じている。
- ・デジタルコンテンツはアーカイブ化して、所管を杉並区立郷土博物館から杉並区や東京都、若しくは国立機関の他部署に移管して、適切に管理・維持し、公共資産として活用することが適切だと思います。

・大宮は少し遠いので、小学校の社会科見学で行った時の記憶しかないのですが、昔の民家の様子を見られたりしてとても面白かったのを覚えています。VHSの再生機の生産終了があったように、全ての電子媒体は時代の変遷で再生できなくなる欠点がありますが、それでも公営によるデジタルアーカイブは「家にいても調べることができる」「サイト等企業の都合に左右されない」「展示だと限られた部分しか見られない資料が、3D保存でまんべんなく確認できる」など利点が大きいと思いますので、ぜひ力を入れてほしいです。しかしながら、「デジタルで残しておけば原本は捨ててもよい」ということではありませんので、よろしくお願いします。

・大学の授業で、アーカイブ学について学んだ際、杉並区のアーカイブについて調べたことがあります。ほかの区に比べてアーカイブについて調べづらかったため、もう少ししらべやすく見やすいようにして欲しいと思いました。また、小学校の頃行った火おこしや石臼体験がとてもおもしろかった印象があるので、ずっと続けて欲しいです。

【その他】

・杉並区郷土博物館の存在はこのアンケートがきっかけで知りました。良い機会なのでこれを機に今度足を運んでみたいと思います。

・存在を知らなかった。行ってみたいとは思いました。

・杉並区に住んで10年以上になりますが、存在を初めて知りました。一般の会社員にはあまり知る機会がないのかも？と思います。

・退職後広報をよく読むようになりましたがそれ以前はあまり読まなかったせいか杉並区立郷土博物館の存在が薄く関心もありませんでした。改めてネットで調べて場所や企画展がある事を知りました。普段行く場所ではありませんが関心ある企画があれば是非行ってみたいと思います。

・貴重な資料が区内に分散され、年々増えて保存スペースを確保するなど、難題が山積みではないだろうか。可能であれば、画像、資料のデジタルデータを整理、分類し、レファレンスサービスを受けられることを期待したい。ただ、既存の建物では限界があると思う。理想を述べれば、博物館(資料館)、科学館、美術館(アニメも含む)、研究施設、講演会場などを併せ持った、複合型博物館です。一日中、楽しめる場が欲しい。

・まだ見ていないため、10/3以降に行きたいと思っています。アンケート記入が出来ないので資料が届いたときに自転車で行きましたが1か月休館でした。事前に教えていただければと思います。記入は見に行ったことがある人の意見を参考にしながら行いました。

・敷地内の庭も整備願ひ、植木や季節の花を楽しめるようにして頂けると宜しいのではないのでしょうか。

・今年初めて郷土博物館を使用させていただきました。素晴らしい長屋門。こんなに素晴らしい歴史の資料館があることをもっと早く知っていればいろいろな歴史のイベントに参加できたと思っております。

・チラシなどでイベントなどを目にして面白そうだな、と思うものの遠いため足を運ばずにいました。

・他区の区立美術館は何度か訪問経験があることを考えると、企画展の内容によっては、展覧会検索(artscape、美術展ナビなど)に出てくると良いなと思いました。もちろん「美術館」ではないので、難しいのかもしれませんが。

・博物館や美術館、庭園などいい施設は残して欲しいと思います。一方で、定年後や親子連れと違って働いていると情報もないし、いつ行っていいのかわからない感じがします。

・今回の調査で郷土博物館の存在を初めて知りました。一度訪問してみたいと思いました。

- ・昨年杉並区へ引っ越してきて、まだ郷土博物館へ行ったことがありません。今回のアンケートで興味がわきました。場所を調べて訪れてみたいと思います。
- ・ホームページを閲覧してみました。親子向けのイベントなどを催しているみたいなので、今度参加してみたいと思います。
- ・そういう施設はあるんだろうなと思ってはありましたが、あまり意識したことはありませんでした。外出先や旅行先で行くことはあっても、中々地元の施設は訪れるきっかけがなかったりします。子どもがいれば、子ども自体が学校で行ったり、一緒に行ったりといった機会があるのかもしれませんが。そういった意味では子どもが楽しめるもの、家族で楽しめるものがあるといいのかなと思ったりします。
- ・ボランティアを活用したイベントや学習会など、住民が杉並区を訪れた人が楽しめる機会、場を提供できたらと思います。
- ・本館、分館とも貴重な展示を拝見しています。また資料も貴重なものを発行されていると思います。特に分館の展示はよく拝見しております。キャプションも丁寧に作ってくださって大変勉強になっております。事務局の方も丁寧に対応していただいた記憶がございます。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・今後も杉並区が歩んできた歴史を後世に伝えていってください。
- ・長く続けて頂きたい。
- ・予算やスペースが限られているので、実際のモノは何を保管、展示、廃棄するのを決めるのが難しいと思います。実物のモノは、触ったり使ったり出来る体験が出来ます。一方デジタル・コンテンツの維持管理に費用は掛かるものの、スペースの問題は少ないと思います。公共資産として自宅や職場からインターネットを介してアクセス出来るので、通常は時間や空間の制約が少なく、使おうと思って際に直ぐに使えて便利です。
- ・区内に住んでいますが、存じておりませんでした。インターネットの口コミを見て面白そうだと思い興味が湧きました。
- ・郷土の歴史こそ、その地域に住む人にとって、いかに重要か、と言う事を身体で理解させる事。
- ・機会が無く、行くことができませんでしたが、希望する内容の博物館の情報をよく知り、良い機会としたいと思う。杉並区はどの区よりも先見性があると思っているので、是非、新しい博物館として生まれ変わって欲しい。もちろん、良き伝統残すこともお願いします。
- ・杉並区固有の歴史やゆかりのある作家について、しっかりと継承しつつ、未来の杉並区のための博物館にして頂きたい。
- ・展示の企画よりも調査、研究と保存に力を入れてほしい。
- ・郷土博物館には4～5回ほど訪問しています。私は会社員時代を含め、地方に行ったときは時間がある限りその土地の郷土資料館を訪れます。資金の問題も多分にあるとは思いますが、展示物やレイアウトなど地域差が大きく、それはそれで楽しいものです。杉並区はどうか、これはお世辞ではなくとてもいい博物館だと感じています。隣の中野区や渋谷区も充実していますね。課題としては古いものばかりを並べるのではなく、スタッフを含めた若返りでしょうか。老若男女が立ち寄り場所として使用できる解放された空間づくりを希望します。今は少しばかり敷居が高いような気がしています。
- ・ここに限らず杉並区は工事が多いですね。郷土博物館以外の施設も長期間閉館する割にきちんと直っていない。
- ・民俗史や地域の歴史は通常生活する上で意識するものではないため、一般的に重要性を理解されにくい領域かと思います。一方で、これらの資産が失われた場合には不可逆的にそれらにアクセスすることができなくなり、地域のルーツや無意識下の風土の喪失に繋がると考えています。持続可能な形で運営して頂けることを楽しみにしております。

令和 7 年度 第 3 回
杉 並 区 区 政 モ ニ タ ー ア ン ケ ー ト
集 計 結 果 報 告 書

登録印刷物番号

07-0030(3)

令和 7 年10月発行

編集・発行

杉並区総務部区政相談課

〒166-8570

杉並区阿佐谷南1-15-1

TEL03-3312-2111(代表)



杉並区の公式ホームページ